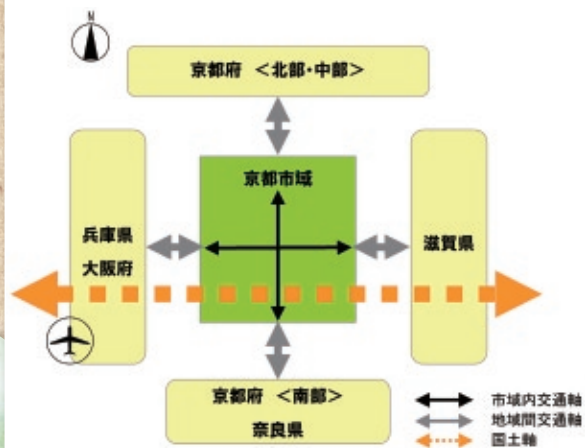


### ■活力ある都市を支える様々な軸



### 環境

#### 地球環境への 都市 負荷が少ない

公共交通ネットワークを活用した自動車に過度に頼らない環境の形成やエネルギーの有効活用、緑をいかすことで、地球環境への負荷が少ない都市を目指します。

- ①人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現による低炭素型の都市
- ②エネルギーを有効活用した低炭素型の都市
- ③緑をいかした低炭素型の都市



### 経済

#### 活力ある都市

産業・商業・業務機能や大学をはじめとする知的機能の集積、歴史・文化資源の集積といった様々な資源をいかし、その質を更に高めることで、定住人口や流入人口等を拡大し、それらを支える基盤整備を図りつつ、活力ある都市を目指します。

- ①にぎわいのある都市
- ②ものづくり都市
- ③質の高い観光都市

## 目標とする都市の姿

様々な都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現するため、京都市基本計画で示されている6つの京都の未来像\*を基本に、都市が持続するために必要となる基本要素であり、互いに深く関連する **環境** **経済** **生活** **文化** **安心・安全** の5つの面から、バランス良く目標とする都市の姿の実現を目指します。

### 安心安全

#### 安心で安全な都市

歴史都市の特性に応じた防災対策やユニバーサルデザインの理念に基づいた取組を図り、災害に強く、誰もが安心して安全な都市を目指します。

- ①災害に強い歴史都市
- ②ユニバーサルデザインの理念に基づいた都市



### 生活

#### 誰もが快適に暮らすことのできる都市

地域特性や既存の交通ネットワークをいかしつつ、快適性と利便性の高い地域の形成を図るとともに、暮らしやすい生活圏を維持・構築することで、誰もが快適に暮らすことのできる都市を目指します。

- ①地域の個性をいかした、快適性と利便性の高い都市
- ②暮らしやすい生活圏がネットワークする都市
- ③多様な地域コミュニティの活動が盛んな都市

### 文化

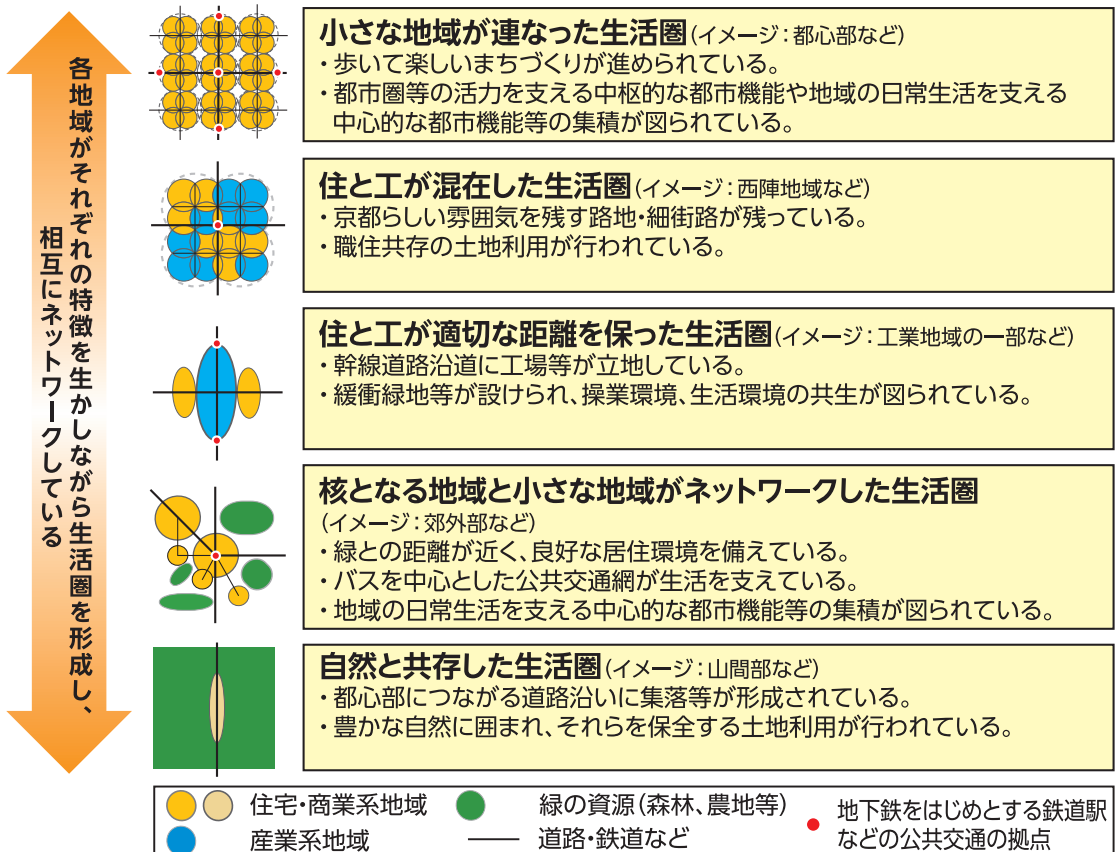
#### 歴史や文化を継承し創造的に活用する都市

都市格を高め、京都が京都であり続けるために、歴史的景観を形成する建築物や庭園、優れた景観・祭りを始めとする伝統行事や伝統芸能、すまいや生活の文化、高い感性と匠のわざを備えた伝統産業など、有形無形の京都の特性を守り、育むことはもちろん、これらを創造的に活用し、次世代に継承していく都市を目指します。

- ①歴史的な町並み景観を守り、育む都市
- ②京町家や庭園などの歴史・文化資源を活用する都市
- ③京都ならではの文化を継承・創造する都市



### ■生活圏のイメージ例(将来像)



### 都市計画を運用する際の戦略的な視点

- 【京都の特性を徹底的に活用】**
  - 既存ストックの活用
    - ・既存都市インフラの活用等
  - 京都の特性の継承と創造
    - ・歴史・文化資源、魅力、個性等の継承と創造
  - メリハリのある土地利用
    - ・メリハリをつけた都市計画による産業・商業・業務機能等の立地誘導
  - 人が主役の歩くまちの推進
    - ・公共交通の利便性向上や自動車利用の抑制
- 【災害への備え】**
  - ・被害を未然に防ぐ
  - ・被害を最小限に抑える
  - ・地域社会の強い絆を守り育む
- 【柔軟な都市計画】**
  - ・都市施設をはじめとした都市計画の見直し
  - ・地域まちづくり構想で、地域の将来像とまちづくりの方針を、地域のまちづくりの状況に応じて順次策定、追加、見直し

\*京都市基本計画で示されている6つの京都の未来像

- ・地球環境に暮らしが豊かに調和する「環境共生と低炭素のまち・京都」
- ・伝統と知恵をいかし、豊かな生活を支える「環境と社会に貢献する産業を育てるまち・京都」
- ・いのちと暮らしを守り、安心・安全で幸福を実感できる「支え合い自治が息づくまち・京都」

- ・歴史・文化を創造的に活用し、継承する「日本の心が感じられる国際都市・京都」
- ・だれもがともに学び成長し、未来を担う若者が育つ「学びのまち・京都」
- ・人間らしくいきいきと働き、家庭・地域で心豊かに生活できる「真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都」

目標とする都市の姿を実現するために...